

## 学友会・優秀教育賞に、長尾謙吉准教授を推薦する

優秀教育賞候補として、学生教育において注目すべきユニークな試みを行なっている経済学研究科准教授の長尾謙吉氏を推薦したい。

経済学部「専門演習」「基礎演習」においては、産業立地や都市・地域経済をテーマとし、工場、商業施設、空港などへの見学を実施してきた。卒業生諸氏の協力体制を得ながら、本来見学が難しい、建設途上のなんばパークスや大型エンジンを受注生産するヤンマー尼崎工場などへも学生と出かけている。また、インターネットに公開されている日本政策学生会議（ISFJ）へのゼミ学生論文「大阪の産業活性化への考察」（2005年）は、国会議員や地方議会議員からの反響もあり、学生にとって大きな刺激となった。机上での勉強と現場での経験を積んだゼミ卒業生が、鉄道会社、ガス会社、地方銀行など関西経済を支える企業へ就職している点も特筆できよう。

全学共通教育においては、「現代都市論」を経済学研究科担当年次には単独で担当し、経営学研究科の担当年次においてもリレー講義担当者の一として講義を行っている。大阪に焦点をあてた「都市・大阪」科目が他に多いことから、担当年次にはマンチェスターやシカゴなど大阪の比較対象となる都市についてビデオを活用しつつ、グローバルな視角から大阪を考える題材を提示している。

国際的な教育にも熱心であり、経済学部の応用科目「経済地理学」では海外の大学教員による英語でのゲスト講義を毎年度一度は実施、サンフランシスコ・ベイエリアへのゼミ研修旅行（2004年）、大韓民国全南大学とのセミナーへの学部生発表者の派遣（2006年）、関西クラブによるロサンゼルス研修へのゼミ学生の入賞（2005年）、大学院生やPDなどとの英語ワークショップの開催など、学生が英語に触れ・英語を活用し、海外事情を学ぶための多彩な活動を展開している。

2007年10月

経済学研究科長 田畑 理一

\* 日本政策学生会議の学生論文のホームページは以下の通り：

<http://www.isfj.net/ronbun/report2005/index.html>